

【資料4】懲戒処分チェックシート

<b>(1) 懲戒処分の準備</b>	
① 自宅待機命令等の再発防止のための措置を検討	<input type="checkbox"/>
② 非違行為の調査の相当性	
a 関係者に対する事情聴取の要請の方法	<input type="checkbox"/>
b 非違行為者および関係者のプライバシーに配慮した調査方法	<input type="checkbox"/>
c 非違行為者に対する事情聴取の方法、信用性の担保	<input type="checkbox"/>
<b>(2) 懲戒処分の決定</b>	
① 懲戒処分の対象となる非違行為が証拠上認定できるか	<input type="checkbox"/>
② 認定された非違行為が、実質的に懲戒事由に該当しているといえるか	<input type="checkbox"/>
③ 懲戒の種類を選択	
a 非違行為と選択された懲戒の種類とが均衡しているか	<input type="checkbox"/>
b 選択された懲戒の種類は、企業における他の処分例との関係で均衡しているか	<input type="checkbox"/>
④ 懲戒処分の手続きは相当であるか	
a 告知・聴聞の手続きが与えられたか	<input type="checkbox"/>
b 二重処罰の禁止に該当しないか	<input type="checkbox"/>
c 非違行為の発生後、合理的な期間内の処分といえるか	<input type="checkbox"/>
d 懲戒処分の手続きに関する社内規定は遵守されたか	<input type="checkbox"/>
⑤ 責任能力の有無の確認	
a 非違行為時において責任能力を欠いていないか	<input type="checkbox"/>
b 懲戒処分を課す場合において配慮すべき事情はないか	<input type="checkbox"/>
<b>(3) 懲戒処分の告知</b>	
① 懲戒処分の文書による告知	<input type="checkbox"/>
② 社内発表の要否とその範囲の検討	<input type="checkbox"/>
③ 解雇予告に関する規制についての対応	<input type="checkbox"/>

(出典：『懲戒処分 適正な対応と実務』（労務行政研究所 編))